

● 幼稚園ナビが運用停止となり、研修機能の代替システムとして

令和6年  
3月1日  
から

# ゆたかなまナビが運用開始 となります!

～スムーズなシステム移行に向けて、皆様ご準備をお願いいたします!～

## ○ 幼稚園ナビからゆたかなまナビへ変わる経緯

幼稚園ナビは平成29年度以降、全日本私立幼稚園連合会と全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が文部科学省委託事業を受託し開発した、人材確保支援アプリです。文部科学省委託事業としての成果は十分に上げたとして幼稚園ナビは運用停止となることとなりましたが、委託期間内に幼稚園ナビを通じた研修運営が全国的に浸透し、必要不可欠なシステムに成長したことを受け、幼稚園ナビの研修機能部分を継続して利用できることを目的に、当機構は「ゆたかなまナビ」という代替システムを開発・運用することいたしました。(求人(求職)機能は、全日私幼連において代替システムの対応を行っています。)

## ○ ゆたかなまナビを利用することの重要性

当機構が作成した「保育者としての資質向上研修俯瞰図」に基づき全国で体系的に研修を展開してきた私立幼稚園等が、質の高い研修を長年にわたって実施及び受講してきたことは文部科学省から理解を得ています。研修の申込から研修履歴の保管まで研修にかかる一切の管理を行うことができるゆたかなまナビは、私立幼稚園等が積み重ねてきた体系的な研修の実施と受講を支援すると共に、教職員一人ひとりの研修の履歴を蓄積することで教員免許更新制度の発展的解消後に提示された国の方針に対応しています。

また、ゆたかなまナビにおいてオンデマンド研修コンテンツを充実化することで、教職員個人の主体性に基づいた研修の受講ができる環境を提供し、教職員の資質向上ひいては園の教育力向上に寄与します。

## ○ 幼稚園ナビの運用停止期間とゆたかなまナビの運用開始日

- 幼稚園ナビの運用停止日：令和6年2月29日  
※システムの利用自体は令和6年2月26日までしかできません。十分にご留意ください。
- ゆたかなまナビの運用開始日：令和6年3月1日

## ○ ゆたかなまナビの URL

施設管理者（設置者管理画面）

<https://yutakanamanabi.kdg.jp/company/login/pref>  
教職員マイページ

<https://yutakanamanabi.kdg.jp/staff/login>

令和6年3月1日以降、幼稚園ナビのURLにアクセスいただいても利用できません。

## ○ ゆたかなまナビの機能や操作について

令和6年3月1日時点で、ゆたかなまナビは、機能や操作において幼稚園ナビの研修機能と大幅な仕様の変更はありません。しかしながら、令和6年度以降必要に応じて、利用者の皆様の利便性の向上や充実した研修運営の実現を目的に、機能開発や改善を行う予定です。機能開発や改善を行った際には、お知らせをいたします。

## ○ 幼稚園ナビに登録した情報や蓄積した研修の受講履歴の取り扱いについて

幼稚園ナビに登録した情報や蓄積した研修の受講履歴は、必要な手続きを行っていただくことで、ゆたかなまナビへ移行することが可能です。

### 【手続き】

令和6年3月1日以降、ゆたかなまナビ初回ログイン時に、利用規約やプライバシーポリシーと共に、情報移行の確認をする文章がポップアップ画面で出現します。内容をご確認いただき、情報の移行に同意いただけた場合のみ、ゆたかなまナビに引き継がれます。幼稚園ナビに蓄積された研修の受講履歴は非常に大切な情報ですので、基本的には情報の移行手続きを行っていただくことをお勧めします。

## ○ システムが切り替わることによる注意点

円滑なシステム移行に向けて、ご対応をお願いいたします。

- 幼稚園ナビのログインIDとパスワードはいずれの利用者も継続利用となりますが、システムのURLが変わりますので、ログインIDとパスワードは必ずお手元に控えておいていただけますようお願いいたします。ブラウザに自動保存されている方も、システムのURL自体が変わるので無効になります。
- 設置者管理画面ログインのためのIDは、ご登録いただいたメールアドレス宛にIDのお知らせを令和6年2月20日に配信いたします。お忘れの園の方は、そちらをご確認ください。
- 幼稚園ナビは令和6年2月29日に運用停止となりますが、令和6年2月27日～29日はシステム切替にあたって幼稚園ナビに一切アクセスすることができません。
- 幼稚園ナビとゆたかなまナビでは、ドメインの変更があります。それに伴い、迷惑メールフィルターを設定されている方は、ゆたかなまナビからの一斉メールが受信できない事象が発生する可能性があります。各人、@kdg.jpが受信できるよう、メールの受信設定をご確認ください。

## ○ システム切替に関する情報提供状況と予定

下記表のスケジュールで各種ご案内を送付しております。本記事以上の情報は下記日程で発信した文書等をご確認ください。よろしくお願いいたします。

情報の提供内容について	対象	日時
幼稚園ナビの運用停止にともなう新システムの立ち上げ及びそれに伴う利用停止期間と留意点について	都道府県団体経由	令和5年11月21日
	園宛一斉メール	令和5年12月6日
	教職員宛一斉メール	令和5年12月13日
システム移行にかかる案内 新システムの詳細に関する案内	都道府県団体経由	令和6年2月2日
	園宛一斉メール	令和6年2月7日
	教職員宛一斉メール	令和6年2月9日



ここがポイント



# 幼児教育とウェルビーイング

EVOL 株式会社 代表取締役 CEO / 前野 マドカ

## ウェルビーイングとは何か？

近年「ウェルビーイング」という言葉をよく聞くようになりまし。教育界において、新たなキーワードとして注目されています。これからの幼児教育においても「ウェルビーイング」をどう捉え、どう取り入れていくか、は大事な要素だと思います。「ウェルビーイング」とは、人々が精神的、身体的、社会的に良い状態であることを言います。「ウェルビーイング」が注目されるようになった理由の一つは、健康や心の幸せについての学問の研究が進んだからです。例えば、「やりがいがある人は幸せ」「利他的な人は幸せ」「健康な人は幸せ」など、様々なことが学問的な知見として分かってきたことにより、より良い心と身体の状態を意識することに注目が集まっているのです。

ウェルビーイング研究に近い言葉に、幸福学があります。人が幸せに生きるための考え方や行動を科学的に検証し、実践に生かすための学問ですから、ウェルビーイング研究の一部といえるでしょう。近い分野に、ポジティブ心理学があります。どちらも、幸せには何が影響するか、幸せになるためにはどうすればいいか、といった問いを追求する学問です。

## 幸せの4つの因子

次に幸福学の基本をご説明しましょう。まず、幸せには、長続きする幸せと長続きしない幸せがあることが知られています。長続きしないのは、お金、物、地位など、他人と比べられる財（地位財）を得たことによる幸せです。一番わかりやすい幸せは人と比べることから発生しています。残念ながらこの幸せは長続きしないのです。人と比べていると、いつまでも本当の幸せには行きつきません。一方、長続きするのは、良好な環境、健康、そして良好な心の状態による幸せです。こちらは他人と比べられない財（非地位財）による幸せです。その人自身が感じる、本質的な幸せ。普段は当たり前すぎて、気づきにくいかもしれませんが、誰もがすでに持っている幸せです。

次に、「幸せのメカニズム」（前野隆司著）に掲載されている幸せの4因子について説明します。心的特性に関する1,500人へのアンケート結果をもとに因子分析を行い、その結果から幸福に影響する要因を4つの因子として体系化したものです。それぞれ、以下の通りです。

### ① やってみよう因子（自己実現と成長の因子）

夢や目標を持っている人、強みのある人、努力して成

長している人は幸福度が高いことが知られています。何かをやってみようと思う力です。

### ② ありがとう因子（つながりと感謝の因子）

人や物事に感謝する人、親切で思いやりのある人、ユーモアのある人、多様な友人がいる人は、幸福度が高いことが知られています。今日一日あったことへの感謝を習慣化するだけで、幸福度が高まることも知られています。

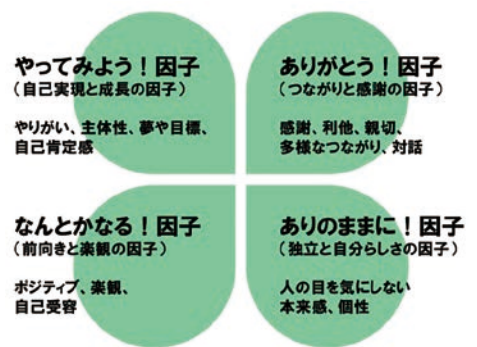
### ③ なんとかなる因子（前向きと楽観の因子）

前向きで楽観的な人は幸せです。また、この因子には「自己受容」が関連しています。自己受容できている人とは、自分のことを、良いところも悪いところも含めて好きでいることができる人のことです。

### ④ ありのままに因子（独立と自分らしさの因子）

人の目を気にしすぎず、自分らしさをわかっている人は、幸福度が高めです。人は人、自分は自分。個性を活かして、自分らしく生きている時が、人は一番幸せなのです。一人一人の個性を解き放ち、のびのびと過すことが重要です。

これら4つの因子は、どれか一つでも高い方がいいですが、バランスよく4つとも高い方がより幸せです。



## ウェルビーイングを幼児教育にいかすには？

まず、大切なことは、先生が幸せであることです。幸せの研究から、幸せはうつることが分かっています。つまり、先生が幸せなら、子供も幸せになります。親が幸せなら、子供も幸せになります。幸せな子供がいれば、周りの子供も幸せになります。

そして、幸福学でわかっている幸せの4つの因子のポイント、自分の好きなこと、やりたいこと、誰かのためになることを、仲間と共に、チャレンジしていくことも重要です。このように、自分の人生に主体的にかかわる子供達を育てていくことが、これからの時代において不可欠です。「すべての人が、それぞれの個性を活かし、幸せな人生を生きる。」一人一人が幸せを意識して行動することができるようになれば、子供たちは明るい未来を描けるようになるでしょう。



# 世界とともに 「子どもの遊ぶ権利」の広がりを

同志社女子大学現代社会学部 教授／笠間 浩幸

2023年6月、イギリスのグラスゴー市でIPA世界大会が開かれました（筆者も参加）。IPAとは、ユネスコやユニセフの諮問団体でもある「子どもの遊ぶ権利」に関する国際的なNGO組織、インターナショナル・プレイ・アソシエーションの頭文字です。この団体は世界約50カ国に支部があり、3年ごとに開催される世界大会では、各国の子どもの遊びの実践や環境づくり、遊びの権利に関する啓発活動などを4日間にわたって話し合います。その間、現地の遊び場や幼稚園・小学校訪問などの楽しい企画も盛りだくさんです。



Rowena Nursery School の園庭 (IPA日本支部 内山悠さん提供)

「子どもの遊ぶ権利」とは、子どもの権利条約第31条に「休息及び余暇についての児童の権利並びに児童がその年齢に適した遊び及びレクリエーションの活動を行い並びに文化的な生活及び芸術に自由に参加する権利<sup>注1</sup>」と明記されています。また、締約国はそのための「適当かつ平等な機会」を積極的に整えていくことが求められています。

「遊び」は活発な子どもの活動をイメージしがちですが、決してそればかりではありません。時にはじっくり考えたり、失敗して悔しい思いをしたり、あるいはただボーっとしたりと、子どもが自らの思いで、その時の自分が最も望むこと、必要と思うこと、心地よいことに没頭することです。

ですから、例えば体を鍛えるためとか、知的能力を高めるためになどと、大人が何らかの目的のために遊びを手段とすることは、その時点でもはや「遊び」ではなくなってしまう危険があります。もちろん、遊びが結果

として子どもたちの様々な能力を引き出し、人間力や生きる力を育てることはその通りです。しかし、遊びという「糖衣」を被せて大人の思い通りに子どもを操ることは、遊びの本質をないがしろにします。遊びとその結果は決して「逆もまた真なり」ではないのです。

ただ、そうなる「遊びを中心とした総合的な指導」を基本とする幼児教育と遊びの関係性はどのようにとらえたらよいのでしょうか。これを砂場から考えてみます。

私は、1歳5ヶ月から1歳7ヶ月の普段砂遊びが大好きな幼児5名を対象に、ある実験を砂場で行いました。それは最初の数分間、砂場に一切何も道具を置かないというものでした。結果は、学級崩壊ならぬ砂場崩壊の状態でした。何ら遊びは成立せず、子どもたちは砂場からどんどん出ていきます。そこで、いつもの砂場道具をガラガラと砂場に置くと、その音を聞きつけた子どもたちはサーっと砂場に戻り、自分の好きなものを選んでみんなで1時間近く砂場での遊びが続いたのです（1歳児期の子どもは砂に直接触れて遊ぶよりも、道具の操作を通して砂に関わることを特徴とします<sup>注2</sup>）。

この事例からは、子どもは何を求め、どのように外界の事物や人と関わろうとしているのかを見定めながら、子ども自身の主体的な活動の可能性を最大限に引き出す環境づくりがいかに重要であるかが見えてきます（そこには、保育者と子どもとの距離や声掛けの仕方なども含まれます）。これこそが幼児教育の専門性であり、また子どもの「遊びの権利」の尊重でもあるのです。時に自分たちの「見定め」が違っていたりすることもあるでしょう。が、それを子どもたちの姿から捉え、内容や方法を吟味し直していくことが保育を科学することであり、この仕事の面白さではないでしょうか。

IPAは第2次大戦下のヨーロッパにおいて、廃材置き場で遊ぶ子どもたちを見守ることから誕生し、その遊び場は今、「冒険遊び場」として日本でも500か所を超える広がりを見せています。そして、その創始者たちは、前稿で触れたアメリカの砂場から始まった遊び場づくりの運動を学んでいました。「自分の責任で自由に遊ぶ」という冒険遊び場の考えは、子どもへの信頼と遊びに対する深い理解、そして子どもの遊びを「権利」として尊重する強い意志があってこそその言葉だったのです。

注1：公益財団法人 日本ユニセフ協会ホームページ (<https://www.unicef.or.jp>)

注2：笠間浩幸(2022)「砂・砂・砂SAND「砂の遊びとアート」と保育」ホシツムグ

## 大阪会場（令和5年9月25日）

ECEQ<sup>®</sup>は開発から10年を経て、今ではみんなの合言葉『やってよかったECEQ<sup>®</sup>』になってきました。令和5年度も9月25日（月）大阪私学会館を会場に養成者28名、フォローアップ者28名が集いました。

まず午前の実践ワーク前に、ECEQ<sup>®</sup>専門部会の各地区担当者の紹介がありました。何か困ったことや分からないことができた時には、その地区担当者に助けをもらえるシステムになり、丁度この会が直接知り合える機会になって休憩時間に地区担当者と話し合う姿も見られました。

講師は、午前午後を通してECEQ<sup>®</sup>専門部会副部会長の秦賢志先生（兵庫：はまようちえん）です。午前には、2022年にアップデートした養成講座テキスト・ビデオ、実施要項、コーディネーターマニュアル、実施園マニュアルの説明とECEQ<sup>®</sup>の真骨頂である田の字法ワークの実践について詳しく説明がありました。田の字法では、第3問（旧第3象限）のアップデートされた考え方や田の字法のオリジナル版の紹介も含めて、進め方のポイントや現在位置共有ワークのテーマ設定のパターン等、深化した内容の説明にみなさん納得でした。

午後の実践ワークでは、実際に秦先生がコーディネーターとなって田の字法の実践を行いました。ファシリテータータイプにどのように問いかけるのかを真剣に見て学ぶ時間でした。終了後の参加者アンケートでは、「理論と実践的ワークが繋がった」、「これまでと変わったところ、進化したところ等がよくわかった」「問いかけによる議論の深まりを感じた」と好評でした。質疑応答の時間には、積極的にみなさん質問されて、養成者もフォローアップ者もお互いに理解を深め合うことができました。

「今後学びたいこと」についてのアンケートでは、「ファシリテーションスキルを磨きたい」、「県内、地区で連携してスキルアップを図りたい」など、幼児教育の質向上に向けたECEQ<sup>®</sup>の活用に対する意気込みを感じました。ECEQ<sup>®</sup>は、今後も実施園の幼児教育における質向上を願ってアップデートを続け深化していきます。今後も語り合える対面研修を通して、ECEQ<sup>®</sup>仲間が広がることを願っています。



実践ワークの様子

## 東京会場（令和5年12月11日）

12月11日（月）ECEQ<sup>®</sup>コーディネーター養成講座Ⅳが、東京・アルカディア市ヶ谷で開催され、東日本地域の先生方を中心に養成者24名とECEQ<sup>®</sup>コーディネーターフォローアップ研修者33名が参加しました。

開会にあたり、安家周一理事長より私立幼稚園の保育の質を高めるために、園を開き公開保育を行ってほしいと大妻女子大学の岡先生のお力も頂き、ECEQ<sup>®</sup>を立ち上げられた経緯と今後の展望についてのお話がありました。

実践ワークⅠでは、ECEQ<sup>®</sup>専門部会副会長の秦賢志先生（兵庫）からECEQ<sup>®</sup>コーディネーター養成テキストのアップデート2023の要点の説明があり、その後、実施要項などへの質疑応答が積極的に行われました。

午後の実践ワークⅡでは、秦賢志先生がファシリテーターとなり、参加者から6名出ていただき、STEP2の模擬ワークが行われました。見学者がいる中でのワークでしたので、初めは皆さん緊張していましたが、ワークが進んでいくと表情も柔らかくなり本音で語り合うようになりました。状況に合わせた秦先生のファシリテーターとしての振る舞いに、語り合っていくために必要な手法を学びながら会場は一つになっていきました。

参加者のアンケート結果からは、ファシリテーションの具体的な手法（問いかけながら、参加者の考えを明確にしていく道程）や声掛けやグルーピングなどの行為の意味が理解できたなどの意見がでました。また今後の学びとして、ファシリテーションスキルをはじめとした、コーディネーターとしての対話力や対応力、組織マネジメントなどを磨いていきたいという意見もいただきました。秦先生のようにはできないという不安な意見もありましたが、本講座に参加し得られた学びから、より実践を重ねてスキルを磨いていきたいなど前向きに捉えていくように変わっていきました。

対面の研修の大事さを認識し、今後に向けた意味のある研修になったように思います。



安家理事長からのご挨拶



一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構  
**第15回ようちえん絵本大賞**  
～新しい絵本を見つけよう～

大賞  
15冊が  
決定

第15回ようちえん絵本大賞は、“子どもに読み聞かせたい絵本”、“お父さん・お母さんに読んでほしい・お勧めしたい絵本”、“まだ多くには知られていない素晴らしい絵本”を選考の基準として、(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・調査広報委員会が過去おおむね8年以内に出版された絵本の中から選考を行いました。その結果、特別賞3作品を含む15冊が絵本大賞に選ばれました。

調査広報委員一同、これからも子どもたちと絵本との出会いの一助となるよう努めてまいります。なお、参考までに調査広報委員会が絵本の紹介文を記載させていただきました。

### 第15回ようちえん絵本大賞 受賞一覧

	絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
特 別 賞	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 <b>理事長賞</b>  <b>かべのすきま</b> 中西翠(文) 澤野秋文(絵) アリス館	ある晩、少年がひとりぼっちでお留守番をしていると、居間の壁の隙間から大阪のおばちゃんらしき3人のおばちゃんがひょいっと現れて、こたつでお菓子を食べたり、卵焼きを焼いてご馳走してくれたり、焼き芋を買ってきてくれたりします。はじめは遠慮していた少年もだんだん調子に乗って、おばちゃんたちとすっかり打ち解け、お茶を振舞ったりするのですが。シュールでナンセンスだけど心温まる、孤独な少年と大阪のおばちゃんたちの物語です。
	<b>調査広報委員長賞</b>  <b>おうちに おばけが すんでいます</b> オリヴァー・ジェファーズ(作) 鈴木沙織(訳) 化学同人	大きな古いお屋敷に住む女の子。どうやらこのお屋敷にはおばけが住んでいるらしい。ちょっと一緒に探してくれる？女の子はまだ一度もおばけを見たことが無いけれど、あちこちに隠れているおばけを君は見つけられるかな？「透ける本」として紹介されている仕掛け絵本です。お屋敷は実写になっていて、本当におばけが出てきそうな感じがします！
	<b>こどもがまんなかしんぶん賞</b>  <b>どんぐり</b> たてのひろし(さく) 小峰書店	どんぐりが落ちてから、芽を出し葉を広げるまでを描いた文字のない絵本です。モノクロの森と、彩色された植物や動物の対比がとても美しく、ページをめくるごとに、自然界の営みが見えてきます。1粒のどんぐりが1本の木に成長することがまるで奇跡であるようにも感じられる絵本です。

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
<p><b>だがし屋のおっちゃんはおばちゃんなのか？</b></p> <p>多屋光孫 汐文社</p>	<p>駄菓子屋のおっちゃんは本当はおばちゃんです。名前はハルコと言います。けどおっちゃんは体は女性ですが男性の心を持って生まれてきました。これまで絵本の世界にはほとんど取り上げられなかったいわゆるLGBTQのテーマを真正面から取り上げ、きわめて今日的な課題を子どもたちにもわかるよう丁寧に描き、心温まるエピソードとして教えてくれます。このような絵本が今の時代には必要なのだと思います。</p>
<p><b>いろって なあに？</b></p> <p>アリス&amp;マーティン・プロベンセン（さく・え） こみやゆう（やく） アノニマ・スタジオ</p>	<p>パパママ夫妻が娘に色を教えたくて作った絵本だそうです。「黄色」「紫」「青」「赤」「緑」「茶」「オレンジ」そして「白」と「黒」を、身近なモノやコトを引用しながら教えてくれます。かわいい絵のページと迫力のある絵のページのコントラストも素敵です。世界は色であふれている、色があるって幸せと感じる絵本です。</p>
<p><b>レストラン ふろ</b></p> <p>麻生知子（作） 小学館</p>	<p>レストランとふる、不思議な組み合わせや表紙の可愛らしい絵にページをめくる前からワクワクが止まりません。美味しそうなサンドウィッチが見え隠れする脱衣所からスタートすると、食べ物仲間入りをしたりモグモグ食べたり…お風呂に来たのか、ご飯を食べに来たのか、何をしに来たのか分からなくなるほど夢中になれる面白さ。美味しいものにまみれてみませんか？</p>
<p><b>ここはおうち</b></p> <p>谷川俊太郎（ぶん） junaida（え） BlueSheep</p>	<p>谷川俊太郎さんの文に Junaida（ジュナイダ）さんがとても素敵な絵を重ねています。</p> <p>わたしだけのおうちという2ページ目から女の子が飛び出して、いろいろなところをめぐる。そしておうちに帰った時にはめぐりあった人や生きもの景色をつれて帰ります。短い文と色彩鮮やかな描写ですが、そこから感じるものは読み手それぞれとなるでしょう。ページをめくりながら子どもと、どんなお話ができるでしょうか？</p>
<p><b>うめぼしさん</b></p> <p>かんざわとしこ（文） ましませつこ（絵） こぐま社</p>	<p>ホカホカのご飯に梅干しをのせて。和食の原点のようなホッとさせる献立ですが、お家で梅干しを漬ける家庭が今どれくらいあるのでしょうか。梅が梅干しさんになる過程をリズムカルな文章で紹介している本です。昭和の香りたたく絵は懐かしくもあり、また、新しくもあり。読みながら、梅干しを漬けていた遠い昔に亡くなった祖母の背中を思い出しました。</p>
<p><b>ねこまたごよみ</b></p> <p>石黒垂矢子（作） 石黒垂矢子（絵） ポプラ社</p>	<p>何百年も生きるという猫の妖怪「ねこまた」。そんなねこまたのある家族のお話です。ねこまたの世界での暦が細かい絵で描かれていて楽しみながらページをめくれます。</p> <p>2月如月から始まるねこまた暦、如月ニャレンタインデー・弥生ひにゃまつり・文月たにゃばた・長月じゅうごにゃといった猫の季節行事が満載！ねこまたがどこかで陽気に暮らしていると考えると楽しくなってきますね！</p>
<p><b>ぎょうざが いなくなりさがしています</b></p> <p>玉田美知子（作） 講談社</p>	<p>「餃子がいなくなり探しています」こんなアナウンスを聞き、としおくんはびっくりです。さて餃子はいったいどこへ行ったのでしょうか。想像の世界のなかで巻き起こるストーリーを追いかけてくなる気持ちと、じっくり絵を楽しみたいという気持ち。皆さんもこの葛藤にかられるでしょう。はたして餃子は無事に帰ってくるのでしょうか。親子で一緒に想像したり、絵を見入ったりと楽しめる1冊です。</p>

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
<p><b>はるのワンピースをつくりに</b></p> <p>石井睦美（文） 布川愛子（絵） ブロンズ新社</p>	<p>ウサギのさきちゃんが素敵なワンピースを仕立ててもらったお話です。春の匂いや色や音を考えながら仕立て屋さんのミコさんをお願いします。色とりどりのかわいらしい絵は子どもたちのイメージを広げることになるでしょう。春という季節を五感からイメージすることに楽しさがあり、きっと子どもたちの感性にも響くことでしょう。</p>
<p><b>ちらかしさんとおかたしさん</b></p> <p>ふしみみさを（作） ポール・コックス（絵） 教育画劇</p>	<p>なんともほっこりする「ちらかしさんとおかたしさん」の二人。帰ってきたら、ぼうしやカバン、上着、ネクタイなどポンポン放りだしていくちらかしさんの後から、全部片づけていくおかたしさん。「あら、うちと同じ」と思う人も多いのでは？ちらかしさんは誰？おかたしさんは誰？でも、二人は相性ばっちり。とっても仲良しなのです。</p>
<p><b>みんなたいぼ</b></p> <p>マヒトゥ・ザ・ピーポー（文） 荒井良二（絵） ミシマ社</p>	<p>パンクバンドGEZANのフロントマン、マヒトゥ・ザ・ピーポーと荒井良二氏の初コラボレーション絵本です。主人公は真面目なおまわりさんです。悪いことをした人達を次々と逮捕していきます。そのうち悪いのは人だけでなく、言葉や音まで悪いのだということになり、最後には自然を破壊する人間全部を逮捕してしまいます。私たちは、今こそ、世界で起こっていることをしっかり見なければなりません。</p>
<p><b>だれのせい？</b></p> <p>ダビデ・カリ（作） レジーナ・ルックートゥーンペレ（絵） ヤマザキマリ（訳） Green seed books</p>	<p>森に住むクマの兵士は誇り高い戦士です。自分の剣の切れ味を試したくて手当たり次第、森中の木を切ってしまいました。そんなある日、上流のダムから水があふれ、自分の砦が壊れてしまいます。自分に起こる災いは、すべて誰かのせいだと思ってきました。しかし、自分の行動も原因であることを知り、勇気をもってその事実を認め、新たな一歩を踏み出していく物語です。</p>
<p><b>ここにいるよ</b></p> <p>シズカ（作） 月とコンパス</p>	<p>「キミがいない」大好きなキミがいなくなって悲しみに暮れるボク。日常の変化に涙がポロっとこぼれますが、ページをめくるとキミの姿が現れて、大好きなキミはいつもそばに居てくれていることに気づきます。大好きとありがとうが心に溢れてくる。愛するものを失くした悲しみにそっと寄り添う絵本です。</p>

## 令和6年度賛助会員（園児の保護者等）入会について

「まなびの広場」をお手に取っていただいております先生方には、当機構の諸事業に対しご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

当機構の賛助会員入会の御礼として配布しております「こどもがまんなかしんぶん」は、令和4年度より開始したデジタル配信をはじめ、幼児教育の大切さをはじめ掲載情報の充実化を図り、多くの方に反響をいただいております。

令和6年度の賛助会員入会申込書は、2月上旬以降順次各園に郵送いたしますので、ご確認いただけますようお願いいたします。

これから子どもたちが幼稚園・認定こども園、ご家庭で過ごす時間がより豊かになりますよう事業をおこなってまいりますので、是非ご活用いただけますと幸いです。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

### 【こどもがまんなかしんぶんについて】

■会費：1口・年間250円

■入会特典：年10回（紙媒体6回、デジタル配信4回／8月と3月を休刊予定）

令和5年8月18日(金)・19日(土)に東京・大妻女子大学にて開催された、第14回幼児教育実践学会ポスター発表の概要を掲載します。3園より、日々の現場で見えてきた課題、解決のための実践的な取り組み、今後の幼児教育を担うための振り返りをご報告いただきました。

## 第14回幼児教育実践学会ポスター発表 (認定こども園せいめいのもり)

### 子ども主体の行事を深める

北海道 幼保連携型認定こども園せいめいのもり / 黒澤美佐希 白木優菜

せいめいのもりでは、従来の発表会から“もりのいろ”という1日に変化しました。実際に経験し、子どもたちは自分の好きなことを形にできるからこそ、意欲的に活動を楽しみ、子どもたちの個性がより輝くようになったと感じます。そんな子どもたちの姿を見て、保育教諭も子どもの想像力や持っている力に面白さを感じ、より保育を楽しめるようになりました。更に保護者も、今までは「できる」「できない」といった見栄えを重視した“評価”から、保育教諭と共に子どもの成長や力を感じる“共感”の声に変化していきました。

今回のポスター発表を通じて、固定概念を捨て、子どもの姿に合わせて行事の形を考えていったことで、私たちが大切にしている思いが伝わり、保護者と一緒に子どもの育ちを共感できる嬉しさを改めて感じました。また、“行事だから”ではなく、日常の保育を深めていくこと

の大切さを考える良い機会になりました。今後も現在の形に満足せず、常に疑問をもち、職員間での議論を続け、せいめいのもりの保育は進化・深化し続けます。



### 遊び込める乳児の環境

北海道 幼保連携型認定こども園せいめいのもり / 富澤甲奈 國田梨沙



今回、改めて園庭やロフトなどの環境が乳児期の子どもの育ちに大きく影響するということを皆さんと共有することができました。自発的に遊びたい! やりたい! 知りたい! という子どもの意欲や欲求が引き出される環境が本園にはいくつも存在します。何度も挑戦することで、手や足の使い方を知ったり、五感を存分に使って遊んだりする中で次第に筋力や体幹などがつきます。

また、身体面での育ちだけではなく遊びの中で挑戦することの難しさに直面した際に、自分自身で乗り越えようとする姿を保育教諭が見守ることにより、探求心や諦めない心が育まれます。そして私たちは何より子ども自身が様々なことを選択できたり、生活面においても同様に乳児期の子どもたちが主体的に考えて生活できたりするような関わりを大切にしています。

今後も一人ひとりの成長に合わせて個性を尊重し、子どもたちの自己肯定感が育まれる温かい保育、また、固定概念にとらわれずその時々の子どもの様子に合わせて保育ができるよう、引き続き学びを深めていきます。

私達は衝撃緩和帽の開発を通じて大切な子供達の未来を守ってゆきます!

ゴツン!! から、  
まもってあげたい。



子どもの頭を守る帽子

企画・開発 株式会社リード

T 028-6104

岩手県二戸市米沢字家ノ上39-1

<http://hot-anshin.com//index.php>

お問い合わせはこちら

安心帽販売

TEL 090-8644-5654

FAX 042-563-8907





# 「質の高い保育を目指して」 ～動画配信による保育の見える化～

北海道 認定こども園高丘幼稚園／玉利幸代 木村風花 松倉茉由夏

近年、ITの発達により私たちの生活は大きく変化しています。この変化は、保育教育の場にも及んでいます。特に新型コロナウイルスの影響による接触を避ける生活の中、保育の領域でも一層の推進が図られました。保育の動画撮影や配信は来園行事が少なくなる中で、家族に安心感をもたらすだけでなく、園内の子どもの様子と保育者による教育・保育への関心を高めました。また、動画により保育者は自身を客観的に見つめ直し、「観られている存在」として自己評価を行う機会が増えることで、より質の高い保育を追求する意識が高まりました。今回は、そんな動画というコンテンツを通して見えてきた様々な保育の形を発表しました。

緊急事態宣言中、外出制限で子ども達が登園できない日々が続いたことがきっかけで当園の動画制作は始まりました。動画配信を始めた当初は、動画の構成や撮影、編集に必要な時間確保の難しさ、生配信するための機材の入手と操作方法、ネット環境の不安定さなど、様々な課題に直面しました。しかし、進める中で、保護者の方々から「園での様子が見られてとても嬉しい。」「動画を子どもと見ることで、園についての話題が増えた。」「子どもの成長を感じた。」「友達との関わりや元気な姿を見られて安心した。」などの声をいただきました。

このような保育動画配信の成果に手応えを感じ、親子で園の様子をもっと楽しめるような動画制作を続けたいという思いが高まり、ついに「動画配信チーム」が結成されることになりました。専属スタッフが加わり、撮影や編集などの専門的な作業を担当してくれています。保育者自身が撮影作業を担当せずに保育



に集中することができるようになり、また、動画を通して保育の振り返りや改善が可能となりました。

本格的に動画制作・配信を始めて見えてきたことは、  
【保護者へのプラス】

- 幼稚園での子どもの様子を伝えることで、保護者に安心感を与えることができました。
- 普段見ることのできないおゆうぎの練習風景や行事の準備や裏側を配信することで、子どもの頑張りも具体的に伝わり、保護者とのコミュニケーションを取るきっかけにも繋がりました。

【子どもへのプラス】

- 練習風景やお手本動画を繰り返し見せることでスムーズな動きを覚えることができました。
- 思い出としていつでも振り返ることができます。

【保育者へのプラス】

- 保育を何度も見返し保育者同士で話し合い、良かった点・改善点を情報共有することで、質の高い保育に近づけることができました。
- 動画を記録し続けることにより子どもの成長過程を共有できるようになりました。
- 他者の保育を見ることで、様々な気づきを得ることができました。

【園へのプラス】

- 保育者・保護者間のコミュニケーションが活発になりました。
- 動画配信が園をPRできるコンテンツの1つとなりました。

今後も保育動画をマニュアル（バス添乗マニュアル動画等）として取り入れ研修等に活用していくなど、様々な動画のあり方を研究し、より質の高い保育を現状に満足することなく探求し続けていきます。

私たちは幼児教育用品を通じ、幼児教育の質の向上に貢献します。

Gakken

ひかりのくに

フレーベル館

世界文化研究所

JAKUETS

Child  
チャイルド本社

# 子どものありのままを感じ取ろうとする大人の在り様

神奈川県 関東学院六浦こども園／鈴木直江 渡辺勇貴 池田幸恵

始まりは・・・ありのままを大事にするってどういう事だろう？

子ども達が群れの中で育っていく事を大切に感じて日々保育をしている私たちは、人の群れの中で安心して自分らしく過ごすために、大人がどんな心持ちで子どもの側にいたらいのだろうと日常の保育を振り返り、改めて考え始めました。

- ・「暴言」と「甘える」を繰り返すYちゃんが大人の関わり方によって自分が愛されている事に気が付いていく。どちらも本当のYちゃんというありのままを受けとめる事によって変わったと私たちも気付かされる。
- ・一見攻撃的に見えるHくんの表しを共感し思いを転換することで、本当のHくんのやりたい事や気持ちに辿り着くことができた。大人の漂わせる雰囲気や発する言葉を確実に子どもは受け取っている事を知る。
- ・友達を求めているものの上手く繋がれないSちゃんが、自分の不安を表に出してみたら周りには自分の事を考えてくれる人がいることに「一人じゃない」と思い、喜びを感じた。
- ・大人の関わりだけでなく子ども同士の中に任せていく事の意味の重要性を感じた。



・自分からは一歩踏み出さないRくんが、信頼している友達となら何でもできると思い色々な事に挑戦していった。大人を介して繋がるのではない子どもの間柄を大事にすることで子どもが自信を獲得していく姿を目の当たりにする。様々な表しをする子ども達は、どの子もみんな試行錯誤をしていた。

では、大人の在り様はと考えた時・・・日々の小さなやり取りの中で、その表しにきっと大きな意味があるのだろうと考えながら、その子の側にそっといる存在。あなたはあなたで良いのだよと心の中で何度もつぶやきながら見守り、子どもの心の声を聴きたいと願いながら側にいる存在。そう、それは子どもの旅のおとも（時には軌道修正を提案することも・・・）の様な存在ではないかという事に辿り着きました。

ポスター発表当日、沢山の方と意見交換ができました。

- ・日々、子どもの難しさに共感し関わる中で、子どもの気持ちを尊重するためにはどうしたら良いか。
- ・色々な大人が関わる為には園はどのような体制になっているのか



などなど、様々な視点から話し合う事ができました。

私たちは、子どもの心と身体の声の聴きながら、子どもにとって側にいて嬉しい大人になること（もちろん大人も試行錯誤しながら）を自分らしく探していきたいと思えます。

 Seagullkids

こどもの笑顔に勝る制服はない。

株式会社 矢部スロカッティンク

URL: <http://www.seagull-yabe.co.jp> E-MAIL: [yabepro@seagull-yabe.co.jp](mailto:yabepro@seagull-yabe.co.jp)

本社	〒241-0821	横浜市旭区二俣川 2-85-2	TEL 045-363-8871	FAX 045-361-3085
東京支店	〒179-0084	東京都練馬区氷川台 3-21-14		TEL 03-6281-0025
千代田支店	〒276-0026	千葉県八千代市下市場 1-13-8		TEL 047-481-7723
埼玉支店	〒330-0604	埼玉県さいたま市大宮区堀の内町 2-1-1		TEL 048-640-3003
仙台支店	〒981-3131	宮城県仙台市泉区泉中央 1-47-1 アコース泉中央 103		TEL 022-218-3217
大阪支店	〒653-8104	兵庫県西宮市天濠町 25-15 KIマンション 1F		TEL 079-869-6510
札幌営業所	〒007-0834	札幌市東区北 34 条東 14 丁目 3-1 マンション東堂 1F		TEL 011-712-8088
福岡営業所	〒811-0214	福岡県福岡市東区和白 2-14-28 エクセル和白 103		TEL 092-605-5080
名古屋営業所	〒464-0083	愛知県名古屋市千種区北千種 2-3-18 1F		TEL 052-778-7272
広島営業所	〒721-0955	広島県福山市新藤町 3-27-8		TEL 084-953-8818
仙台工場	〒981-0504	宮城県東松島市小松字松田 110		TEL 0225-82-8111
稚内工場	〒097-0001	北海道稚内市末広 5-35-1		TEL 0162-32-8111
物流センター	〒981-0504	宮城県東松島市小松字松田 108		TEL 0225-82 8154
第二物流センター	〒721-0955	広島県福山市新藤町 3-27-8		TEL 084-953-8818



# 機構の活動報告・お知らせ

## 令和5年度全国研究研修担当者会議の開催

令和6年1月26日、アルカディア市ヶ谷私学会館において、全日私幼連と全日私幼研究機構の令和5年度全国研究研修担当者会議が開催されました。

本会議は、全日私幼連と全日私幼研究機構が連携を図りながら全国の私立幼稚園や私立幼稚園由来の認定こども園の支援を通じて幼児教育の振興や質向上に取り組んでいることから共同で開催され、全国の教育研究担当者、89名の方が参加し、講演・報告が行われました。

はじめに山西幸子全日私幼連副会長より開会のあいさつが行われた後、宮下友美恵全日私幼研究機構副理事長より趣旨説明が行われ講演・報告が以下の通り行われました。

### 〔講演①〕

「近未来に向けての保育／教育の問い直し」

安家周一 全日私幼研究機構理事長

### 〔報告①〕

「教育研究委員会（研究研修委員会）からの報告」

岡本和貴 全日私幼研究機構研究研修委員長

### 〔報告②〕

「ECEQ<sup>®</sup> 専門部会からの報告」

岡本潤子 全日私幼研究機構ECEQ<sup>®</sup> 専門部会長

### 〔報告③〕

「オンデマンド研修についてのお願い」

川原恒太郎 全日私幼研究機構研究研修副委員長

### 〔講演②〕

「研修俯瞰図を活かした各地区・各園での研究研修の進め方」

箕輪潤子氏 武蔵野大学教育学部幼児教育学科教授

### 〔講演③〕

「これからの幼児教育の視点：幼児教育振興法をもとに」

田中雅道 全日私幼連会長

本会議では、両団体の活動の現況とこれからについて全国の教育研究担当者に示すことができ、宮下友美恵全日私幼研究機構副理事長の閉会あいさつで終了しました。

## 対面で実践学会を実施します！ 第15回 幼児教育実践学会

**期間** 2024年8月23日（金）・24日（土）

**会場** 東京都 大妻女子大学千代田キャンパス  
〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

**テーマ** 「一人ひとりの『こどもがまんなか』をまもる質の高い幼児教育を」  
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～  
8月23日：基調講演Ⅰ・Ⅱ / 研究者によるプレゼンテーション  
24日：口頭発表及びポスター発表

**定員** 700人 **参加費** 8,000円

**第1次案内について**（2月中旬以降各都道府県事務局から各園へご案内いたします）

口頭発表・ポスター発表で各園の実践発表を大募集しています。

### 実践発表の申込期間について

- ・口頭発表（20発表）：2024年2月20日（火）～4月30日（火）まで
- ・研究者（大学教員）発表：2024年2月20日（火）～5月31日（金）まで
- ・ポスター発表（50発表）：2024年2月20日（火）～5月31日（金）まで

### 第2次案内について

「開催要項」「参加申込」は、5月以降ご案内いたします。

対面研修で保育実践を語り合い、対話の中から学び、自身の保育を深めましょう。是非ご参加ください。